

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	留萌 ^{るもい}	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	留萌市ほか7町村 ^{るもい}
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は北海道の北西部に位置し、天売島・焼尻島を有する西部は日本海に面しており、東部から南部にかけては天塩山地、増毛山地が連なり、北部は天塩平野につながる。また、中南部では海岸近くまで丘陵が迫り、河川沿いに平坦地が分布する。</p> <p>本地区の総面積は345千haのうち、森林面積は286千ha（森林率83%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は33千ha（人工林率33%）で、トドマツが76%、カラマツ9%を占めている。齢級構成はⅧ齢級以上が75%と利用期を迎えており、今後、主伐に伴う更新作業の増加が見込まれる。</p> <p>また、本地区内の林道延長は238千mで、公道等を含む林内道路密度は7.6m/haとなっており、このほかに林道の支線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち8千ha（人工林の25%）がⅧ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、森林所有者の高齢化や後継者不足による森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、留萌地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備： 9,353 ha</p> <p style="padding-left: 20px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備： 6,800 m</p> <p style="padding-left: 20px;">林道開設</p> <p>総事業費：2,549,833千円（税抜き2,318,030千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.00</p> <p>（総便益（B）=18,138,808千円、総費用（C）=3,631,208千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林が多く所在し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

整理番号

1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：北海道

地域(地区)名：留萌^{るもい}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,908,914	
	流域貯水便益	1,220,963	
	水質浄化便益	4,556,500	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,698,893	
環境保全便益	炭素固定便益	1,500,295	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	417	
	木材生産確保・増進便益	1,610,110	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	642,716	
総 便 益 (B)		18,138,808	
総 費 用 (C)		3,631,208	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,138,808}{3,631,208} = 5.00$		

森林環境保全整備事業 留萌地域（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Orange line)
市町村役場所在地	⊙ (Red circle with dot)
一般民有林 (人工林)	■ (Light green)
道有林 (人工林)	■ (Dark green)